

令和7年度  
全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

# 法人管理事務運営部会 実施案内（速報）

主催 一般財団法人日本私学教育研究所／後援 日本私立中学高等学校連合会

【研究のねらい】

## AI時代の学校におけるDX改革 ～新しい私学の教育と働き方～

激しい変化を見せる社会において、ビジネス界ではデータとデジタル技術を活用してDX化を推進し、効率的な業務の変革を目指す動きが活発化している。教育現場においても、政府がこれからのデジタル等成長分野を支える人材育成強化のため、「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」を掲げ、高等学校における学校DX化を推進している。併せて、校務DXも同時に推進することで多岐にわたる業務の効率化・負担軽減を実現し、教職員は本来の教育活動により集中することができる。その成果はやがて未来を担う子供たちに還元されるだろう。

今年度の当部会では、「校務DX」をテーマとし、2つの講演、研究討議等のプログラムを通して、それぞれの課題等を共有し、学校DX化の現状を捉え、私学における校務DXの拡充とこれからの働き方について考察する場としたい。

【会 期】 令和7年8月8日（金）

【会 場】 **ビジョンセンター品川**（東京都港区高輪 4-10-8 京急第7ビル）  
（JR各線・京急本線「品川駅（高輪口）」徒歩3分）

【募集人数】 60名

【参加対象】 理事・事務局長・事務長等の事務管理職並びに校長・副校長・教頭・教務部長等の教育管理職  
※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

【参加費】 19,000円（昼食費を含む。宿泊費別）※宿泊は各自でご手配下さい。

【プログラム】

① 基調講演

〈演 題〉 DXハイスクールの意義とDXによる働き方改革

〈講 師〉 鹿野 利春 京都精華大学メディア表現学部教授

② 講 演

〈演 題〉 DXで実現する校務効率化～デジタル採点・Web出願システム導入による働き方改革～（仮）

〈講 師〉 黒井 徳馬 大日本印刷株式会社  
阿部 貴志 三菱総研DCS株式会社

【日 程】

9	30	45	10	05	15	11	25	12	15	13	25	14	35	15	45	16
受	付	開	基調講演	研究討議Ⅰ	昼食	講演	研究討議Ⅱ	閉								
		会	(80分)	(70分)	(情報交換会)	(70分)	(70分)	会								
		式			(50分)			式								

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

当研修会実施案内・参加申込書は3月に全国の私立中学校・高等学校・中等教育学校に郵送し、募集を開始します。

【照会先】 一般財団法人日本私学教育研究所 一般研修会担当  
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷UNビル 6階  
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683 ホームページ URL <https://www.shigaku.or.jp/>



9:00～ 9:30	◇受 付◇
9:30～ 9:45	◇開 会 式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 3. 役員・専門委員紹介 4. 研修会運営方針説明 工藤 誠一 法人管理事務運営専門委員長 5. 日程説明 6. 閉式
9:45～ 11:05	◇基 調 講 演◇ 司会・講師紹介・謝辞 法人管理事務運営専門委員 演 題 「DX ハイスクールの意義と DX による働き方改革」 講 師 鹿野 利春 京都精華大学メディア表現学部教授
11:15～ 12:25	◇研究討議 I ◇ 【会場】 同 2 階(「202」、「203」)/同 3 階(「302」、「304」、「306」) テーマ 「DX ハイスクールと DX による働き方改革について(基調講演を受けて)」
12:25～ 13:15	◇昼 食◇ (情報交換会)
13:15～ 14:25	◇講 演◇ 司会・講師紹介・謝辞 法人管理事務運営専門委員 演 題 「DX で実現する校務効率化～デジタル採点・Web 出願システム導入による働き方改革～」(仮) 講 師 黒井 徳馬 大日本印刷株式会社 阿部 貴志 三菱総研 DCS 株式会社
14:35～ 15:45	◇研究討議 II ◇ 【会場】 同 2 階(「202」、「203」)/同 3 階(「302」、「304」、「306」) テーマ 「校務 DX の効果的活用について(講演を受けて)」 ※グループ及び会場は「研究討議 I」と同様
15:45～ 16:00	◇閉 会 式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開式 2. 総括 工藤 誠一 法人管理事務運営専門委員長 3. 閉会挨拶 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長

※プログラムは変更になる場合があります。

### 【研究討議の進行について】

5グループに分かれ、小グループ毎に討議を行い、各テーマに沿って参加各校の現状や課題等について意見交換を行います。(小グループでの司会は参加者に依頼します。)

### 【基調講演 講師プロフィール】

#### 鹿野 利春 (かの としはる) 京都精華大学メディア表現学部教授

石川県内の公立高等学校教諭、教育委員会指導主事を経て、2015年4月に文部科学省初等中等教育局教科調査官(高等学校情報科担当)。現行学習指導要領の学習指導要領(情報編)をとりまとめる。また、小学校プログラミング、GIGAスクール構想などの施策にも携わる。

2021年4月に京都精華大学教授として着任。情報科教員養成課程を立ち上げ、情報教育、情報科教員育成を行う。2021年10月から経済産業省の「デジタル関連部活支援の在り方に関する検討会」の座長を務め、2022.3に「Society5.0を見据えた中高生等のデジタル関連活動支援の在り方提言」を出す。この提言の内容を社会実装するための組織として、2022年7月に(一般社団法人)デジタル人材共創連盟(以下、デジ連という)を設立し、代表理事を務める。

現在は、文部科学省の教育DX戦略アドバイザー、情報活用能力調査委員を務める傍ら、DXハイスクール事業推進に関して、デジ連の会員企業とともに「DXハイスクールプラン集」を作成して、多くの学校に採用いただいている。また、デジ連主催の全国情報教育コンテストは、DXハイスクール指定校の成果発表の場という位置付けもあり、2回目から文部科学共催となり、入賞者の大阪・関西万博における作品展示も決定している。

その他として、東京学芸大学講師、広島修道大学講師、理化学研究所客員研究員、大阪芸術大学アートサイエンス学科客員教授など。実教出版編集顧問、ライフイズテック顧問、SPRIX顧問、サーティファイ顧問として、情報科の教科書や教材開発にも携わっている。

